

広島市スポーツ振興のための取組（令和3年度以降）

1 趣旨

本市のスポーツ振興について、令和3年度以降、「スポーツ基本法」や「広島市総合計画」の理念等を踏まえながら、次のとおり取り組んでいくものとする。

2 基本的事項

(1) 基本理念

新しい「スポーツ王国広島」を目指して
～スポーツが好き 仲間が好き 広島が好き～

子どもから高齢者、障害者や健常者、初心者からトップアスリートまで全ての市民が様々なスポーツに関わり、生きがいを感じることでできる明るく活気あふれる平和なまちづくりに取り組むことにより、スポーツや仲間、広島が好きな市民の笑顔であふれる新しい「スポーツ王国広島」を目指す。

(2) 基本方針及び数値目標

基本理念の実現に向けて、次の(1)～(4)に掲げる四つの基本方針の下、施策の推進に取り組む。また、基本方針ごとに取組の成果を測るため、数値目標を設定する。
(長期目標：10年間（令和3～12年度）、短期目標：4年間（令和3～6年度）、以降3年ごと）

① 地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興

市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの体力や技術、興味や目的に応じて、気軽にスポーツを楽しむことができるよう、市民が気軽にスポーツに親しむ機会の提供と環境づくり、健康づくり・体力づくりや地域コミュニティの活性化に向けたスポーツの振興などにより、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興を図る。

また、健康寿命の延伸を実現するためには、社会生活を営むための機能を高齢になっても可能な限り維持することが重要であるため、乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた健康づくりに取り組む。

長期目標	週1回以上運動・スポーツをする市民（18歳以上）の割合を75%以上にする。
	1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動を行ったことがある市民（18歳以上）の割合を12%以上にする。
短期目標	1年間に一度も運動・スポーツをしない市民（18歳以上）の割合を15%以下にする。
	広島市スポーツイベントボランティアの1年間の派遣人数を延べ3,700人以上にする。

② 学校における体育・スポーツの充実

子どもが積極的に運動・スポーツに親しむことができるよう、学校の体育授業や運動部活動の充実、スポーツ環境の整備などにより、学校における体育・スポーツの充実を図る。

長期目標	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、体力合計点の全国の平均値を100とした際の広島市の割合を103以上にする。
短期目標	運動やスポーツが好きだと思う児童生徒の割合を小学生92%以上、中学生87%以上にする。

③ 競技力の向上

広島市出身のスポーツ選手が全国規模のスポーツ大会で活躍できるよう、ジュニア選手の育成・強化や優秀な指導者の養成・確保などにより、競技力の向上を図る。

長期目標	国民体育大会に出場する広島県選手に占める広島市選手（ふるさと選手を含む。）の割合を65%以上にする。
短期目標	運動や部やスポーツクラブに入っている児童生徒の割合を小学生58%以上、中学生77%以上にする。

④ まちの活力創出に向けたスポーツの振興

市民のスポーツに対する関心や興味を高め、まちの賑わいを創出することができるよう、国際的・全国的なスポーツ大会等の開催・誘致やトップス広島等との連携によるプロスポーツ・企業スポーツ等の振興などにより、まちの活力創出に向けたスポーツの振興を図る。

長期目標	1年間にスポーツの試合・大会等（※）を直接観戦した市民（18歳以上）の割合を50%以上にする。
短期目標	1年間にスポーツの試合・大会等（※）を直接観戦した市民（18歳以上）の割合を46%以上にする。

※ 対象は、全国規模のスポーツリーグの試合又は国際的・全国規模のスポーツ大会とする。

